

2017年10月18日

法医解剖事例における胃内容のpH値に関する基礎的研究

法医解剖を実施されるご遺体の中には、薬物や毒物を服用したことにより亡くなったという事例があります。服用した薬物や毒物の種類によっては、胃内容のpHがアルカリ性となり、それらの摂取を証明する手がかりとなることがあります。しかしながら、これまで薬物等の摂取がない事例における胃内容のpHの基礎的な値の報告はないため、これを調査したいと考えています。この研究は、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得て行っています。

1. この研究の対象となる方：

香川大学医学部にて2016年1月から2017年9月までの期間に法医解剖を実施した方のうち、胃内容のpH測定ができた方の年齢・性別・死因・死後の推定時間・胃内容量などの資料を対象としています。

2. 対象になった方の不利益と危険性：

研究に用いる資料データは個人名が特定できないようにした上で、厳重に管理しますので、研究の対象になることで、特に不利益が生じることはありません。また、既存の資料からデータを収集しますので、危険性はありません。

3. 検討成果は、今後の検査の鑑定精度の向上に寄与することで、社会に還元・貢献していくことができます。ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

4. この研究について、研究計画や関係する資料、研究対象者に関する情報をお知りになりたい場合は、他の研究対象者の個人情報等や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する研究対象者の個人情報に関しては、お名前、住所など、研究対象者個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者と特定できる個人情報等は利用いたしません。

5. 本研究に関する連絡・お問い合わせ：

研究責任者 木下博之

香川大学医学部 人間社会環境医学講座 法医学

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1

TEL: 087-898-5111 内線 2542

FAX: 087-891-2141